

2016年2月5日

岐阜県・土岐市に新工場設立

～航空事業の新たな生産拠点として、中部国家戦略特区へ進出～

金属技研株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：長谷川数彦）は、顧客との連携強化を図りつつ、我が国の航空産業の中核である中部地区への進出を行うことを目的に、岐阜県土岐市に新工場（以下、土岐工場）を設立致します。

航空機の需要は、益々増加することが予想され、JADC（（財）日本航空機開発協会）の市場予測によると2034年には、世界の航空機旅客輸送量で現在の2.5倍、ジェット旅客機の需要で1.6倍になると予測されています。日本では三菱航空機株式会社のMRJの開発等、今後は航空産業の拡大が見込まれ、中部地区においては、国、岐阜県・愛知県を中心に「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」を形成し、国家戦略特区として積極的に航空宇宙産業の育成を行っています。

弊社では、滋賀工場（滋賀県・愛荘町）において1977年に米国ボーイング社の品質規格（BAC）の認証を取得し、航空機部品の熱処理事業に参入。2006年には、国際航空宇宙産業における特殊工程に対する認証であるNadcapの認証を取得しています。また近年では、今後一層の成長が見込まれる航空関連産業への展開を強化するため、2011年に千葉工場（千葉県・横芝光町）、翌2012年には成田工場（同・成田市）を相次いで新設。航空機のMROビジネスへの本格的な参入を行ない、国内外の各航空会社に対して修理作業受託サービスを展開しております。

上記航空関連産業における市場環境と弊社におけるこれまでの航空事業への取り組みを背景として、この度新設する土岐工場では、主に中部地区を中心とした民間航空機部品の成形加工と熱処理ニーズを取り込み、弊社航空関連事業の更なる発展を担う生産拠点として操業開始致します。

弊社は今後もあらゆる産業界に対して、長年培ったノウハウを基盤に、最先端の技術を活かしてものづくりのトータルソリューションを提供すべく、更なるサービスの拡充に努めてまいります。

新工場の概要は、以下のとおりです。

■新工場計画概要

- 名 称 : 金属技研株式会社 土岐工場
所 在 地 : 岐阜県土岐市泉町久尻字北山 1431 番 56 (土岐アクアシルヴァ内)
敷地面積 : 34,857 m² (うち、平地 21,765 m²)
建物面積 : 4,909 m² (第一期計画)
延床面積 : 7,355 m²
操業開始 : 2017 年 6 月 (予定)
事業内容 : 航空機関連部品の熱処理、超塑性成形、熱間成形加工
投資総額 : 約 32 億円
従業員数 : 約 30 人 (予定)
売 上 高 : 約 6 億円/年 (2020 年計画)

